



2019年度 山県市教育センター要覧

「令和」と学級経営

山県市教育センター所長 鬼頭 立城

令和

新しい年号は「令和」であります。

～この「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ、という意味が込められております。

～厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように一人ひとりの日本人が、明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そうした日本でありたい、との願いを込め、「令和」に決定しました。～ (平成31年4月1日内閣総理大臣談話)

本年度の山県市学校教育の指針の重点項目の「自己有用感の涵養」には、「～心のつながりや居場所を実感できる絆づくりを推進する」とあります。また、「学校経営」の項目には、「～児童生徒一人一人を大切に学級経営の充実を図る」を付加しました。新元号「令和」の意味や願いと重なると感じました。

一方、これからのAIの台頭する社会に求められる力は、「人間力」と言われます。教師は、

- ア 「何を理解しているか、何ができるか (生きて働く「知識・技能」の習得)」
- イ 「理解していること、できることをどう使うか (未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)」
- ウ 「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか (学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)」

この「人間力」を継続的に見取っていく必要があります。また、こうした力の育成には、学級集団の高まりが影響します。「ルール・仕組みづくり (令)」と「リレーション・親和的な人間関係 (和)」を核にした学級経営が重要であると考えます。

ある教育委員さんは、年度始めに「差別やいじめのない学級 (学校) づくりという視点ははずせない。」と言われました。「子どもたちの未来を視座した教育に理想を掲げ、教育計画等を工夫・改善し、実践することは尊い。しかし、子ども一人一人にその教育が涵養していく土壌 (文化) が創られていなければ実現することはできない。」という意味の発言ではないかととらえました。

「令和」という新しい時代となりました。「令」と「和」は、人間教育にとっても、学校教育にとっても、有効かつ大切な言葉 (視点) であると言えます。

この時代の先の「子どもたちの未来」を見つめ、「令」と「和」のある「山県市ならではの教育」を「チーム山県」の全教職員で創りあげましょう。

「チーム YAMAGATA (山県市ならではの教育)」

たくましく 規 律 (基本的習慣の徹底) : 学力 (確かな学力定着の体制づくりと授業改善) : 自己有用感 (絆づくり)

2019年度 教育センター事業

I 研修

<基本研修>

	名 称	内 容	対 象	月 日
1	新赴任者研修 (夏期講座：歴史)	山県市に初めて赴任する教職員が、史跡等について学び、教育に生かす。	新赴任者	7/29
2	初任者教員研修会	新規採用教員として必要とされる基本的事項の研修を行う。	新規採用職員	7/2 10/15
3	2年目研修会	採用2年目の教員が互いの実践を交流したり、課題を追求したりすることを通して、一層の資質向上を図る。	採用2年目教員 (直採講師研と 合同)	5/23
4	2・3・6年目研修会	教職1校目・2校目の教員が実践交流をし、今後の教員としてのあり方を考える。	採用2・3・6年目教員	10/3
5	直採講師研修会	児童生徒理解や学習指導等に関する基礎的・基本的な知識や技能を習得する。	直採講師＋参加希望講師 (2年目研と合同)	5/23
6	学級経営研修会	小学校及び中学の学級づくりについて、具体的に学び、実践に生かす。	小中学校初勤務者 ＋ 希望者	4/19 8/23 1/10
7	学習支援員・教育ポ ーター等 研修会	児童生徒への具体的な支援のあり方や、支援者としての資質向上を図る研修をする。	学習支援員 英語活動支援員 教育ポーター (特別教育ポーター)	5/14 6/11
8	英語教育推進委員会及び 英語活動支援員研修会	英語教育推進担当教師、英語活動支援員として、授業での具体的な進行や支援のあり方、資質向上を図る研修をする。	英語教育推進担当教師 英語活動支援員	5/10 12/12
9	図書館主任 読書指導員研修会	図書館主任・読書指導員としての職務及び読書指導の研修をする。 *2回目は、読書指導員のみが参加	図書館主任、読書 指導員 読書指導員	5/21 7/10
10	特別支援教育コ ーディネーター研修会	特別支援コーディネーターの資質の向上を図る研修をする。	特別支援教育コ ーディネーター	6/14 11/8



<自己啓発研修>

	名 称	内 容	対 象	月日
11	防災教育研修会	家庭・地域と連携した防災教育の在り方について研修する。	教頭および希望者	教頭会にて
12	夏期講座 (9講座計画)	今日的な課題を解決する知識や技能を身に付け、指導力を高める。	該当者 教職員希望者 (一人1講座)	7/24 7/26 7/29
	夏期講座：剣道 (隔年実施)	中学校における武道(剣道)指導の基礎と実技を学ぶ。	中学校体育科指導教員 (含：免外)	なし
13	学校づくり コンサルタント	学校が希望する指導者を講師として招き、学校運営の助言を受ける。	学校管理職	希望校
14	研究主任会	小中学校の校内研究について、情報交流し、実態に応じた研究のあり方を考える。	研究主任	随時
15	僻地・複式研修会	複式学級担任としての指導方法や情報を交流・共有し、指導力を高める。	複式学級担任	随時

II 調査・研究

	名 称	内 容	対 象	月 日
16	教育の進化を求めて (教育懇談会)	市の学校教育に関する幅広い意見や提言をいただく。	教育関係者等	12/5
17	教育実践論文・ 実践記録・自作教具	実践論文等の募集を行い、主体的な研究実践の奨励をする。	教職員	審査会 1/14
18	学力向上推進会議	各校の学力定着等の取組状況の交流・検討を通して、基礎学力の向上を図る。	学力向上推進教師	6/26 3/12
19	情報教育推進委員会	情報教育の推進及び充実により、教育情報の有効な活用や教育活動の質的改善を図る。	情報教育推進委員	5/16 2/18
20	英語教育推進委員会	小学校英語の研修等を通して教職員の指導力向上を図る。	英語教育推進担当 教師	5/10 12/12
21	社会科副教材 作成委員会	社会科の教科書の内容に合わせ、市の文化・自然・社会の教材化を図る。	作成委員	随時
22	小中連携研究会	各小中学校間で、共通して取り組む指導内容を相互に理解し、指導に生かす。		中学校 区随時
23	学校運営協議会 推進委員会	学校運営への保護者・地域住民の参画による「地域と共にある学校づくり」の推進を図る。	各中学校区 協議会推進委員	中学校 区随時

Ⅲ 情報収集・発信

教育センター要覧の発行	センター事業の方針や内容
センターだより「いしずえ」	センター関連記事の掲載
図書（児童・教師用）等の貸出	センター蔵書（含：大型絵本，教科書）
テラステーション （データ管理）	スタートカリキュラム，国語作品集 社会科副読本，市教研・校内研の授業案，公表会案内
廃棄図書活用	各学校で廃棄処分とした図書を施設で活用
拡大コピー（白黒・カラー）	大型掲示 垂れ幕等

Ⅳ 教育相談

<適応指導>

趣旨 不登校の児童生徒に対し指導・援助を行い，自立を支援することによって，学校生活への復帰を図る。

- ① 生活指導員による支援（長期休業中を除く）

「コスモス教室」

美山教室 山田市教育センター内 TEL：52-1571

月曜日・木曜日 9時～15時30分（基本）

高富分室 高富中央公民館 TEL：52-1571（センター受付）

火曜日・水曜日・金曜日 9時～15時30分（基本）

- ② 教育相談員による支援

各学校の実態に応じ，教育相談員を派遣し教育支援を行う。（現状：高中、美中）

<電話相談>

趣旨 学校教育にかかわる不安や悩みなどの相談に対応し，適切な支援を行う。

窓口 教育センター「コスモス」 TEL：52-1571

日時 月曜日～金曜日 9時～15時30分

<教育相談研修会>

趣旨 不登校の児童生徒の自立を支援するために，関係を密にして，よりよい指導・援助の充実に努める。

研修会 教育相談担当者研修会 年2回 5/9 10/1

V 児童生徒対象

名 称	内 容	月 日
夏休み作品相談	電話で相談を受け、専門教諭が助言にあたることによって作品の向上を図る。	夏期休業中
夏休み作品展	優れた作品の表彰を行うと共に作品展示を行い、教科学習の促進を図る。	9/6～9/8
夏休み作品づくり	テーマを決めて作り方を工夫し、楽しい作品を作る。 (新聞切り抜き作品)	7/22
こどもの市展	作品(図工・美術・書写)のもつよさや美しさに触れ、表現意欲を高める。	11/7～ 12/1
子どもの作品	各校の作文・誌・感想文等、優れた作品をテラステーションにアップし、その作品を活用して児童生徒の文章力等を高める。	随時

VI 貸出物品

教材教具	プロジェクター スクリーン 譜面台
野外活動関係	キャンプファイヤー関係 野外炊事調理器具 キャンドルサービス用具等 もちつき用具(臼, 杵) 焼き杉用具
図書	小中学校の検定教科書(各社) 過去の教科書 センター図書(教職員用・児童生徒用) 小学校回覧(大型絵本・紙芝居)
諸検査用具	WISC-III(知能検査器具・知能検査記録紙) WISC-IV(知能検査器具・知能検査記録紙) WISC-IV検査説明書 グッドイナフテスト(ハンドブック・記録用紙) デジタル騒音計 照度計



センター職員

所長 (学校教育課長)	鬼頭 立城
次長	丹所 充哉
市スクールソーシャルワーカー 兼 主任教育相談員	棚橋 亮治
センター学習支援員	神山 基子
センター事務	矢口 藤男
主幹 (学校教育課)	長谷川 寛典
課長補佐 (学校教育課)	宮川 ゆかり
課長補佐 (学校教育課)	高橋 茂洋
総括主幹 (生涯学習課)	水谷 勝彦
主幹 (生涯学習課)	藤根 勝

教育相談員 (中学校『教育相談室』)

高富中：井藤 康子・鷲見 顕

美山中：菊地 昌代

生活相談員 (適応支援教室『コスモス』)

村瀬 文・岩間 伸浩・北洞 雅子・臼田 佑里奈

<生涯学習課の関係>

体育協会事務局

谷端 良夫

放課後子ども教室コーディネーター

山田 立晴・横山 数馬

未来塾コーディネーター

野澤 宏邦

児童・生徒の健やかな成長

教職員のスキルアップ

新規設置 ・ssw(スクールソーシャルワーカー) 福祉系関係機関との連携強化
・未来塾コーディネーター 中高校生への学習支援

新規事業 ・学級経営研修会 (対象：小・中への初勤務者 + 希望者)
・大型絵本の巡回貸し出し

強化事業 (各種研修事業やssw・センター学習支援員の動き)
・通常学級における特別支援
・いじめや自殺の未然防止



沿革

- 平成15年度 *山県市教育センター設置
- 平成16年度 *センター次長配置
*相談員と学校担当者の合同連携研修会発足
*山県市生涯学習リーダー登録者名簿発刊
*センター広報紙「いしずえ」初版発行
- 平成17年度 *新規15事業開設
- 平成19年度 *事業の整理統合, 新規2事業(学校教育)
- 平成20年度 *事業の整理統合, 新規7事業(教職員研修)
- 平成21年度 *学校地域支援本部との連携
- 平成22年度 *センター移転(旧富波小学校へ)
*適応支援教室『コスモス』統合
*大研修室にエアコン設置
- 平成23年度 *主任教育相談員, 主任学習支援員配置
*2階研修室にエアコン設置
- 平成28年度 *山県市体育協会事務局を教育センターに配置
- 平成29年度 *主任学習支援員に代わり, センター学習支援員配置
*10月 『コスモス分室』を, 高富中央公民館内に設置
- 平成30年度 *「課後子ども教室」(ステイハット)コーディネーター配置
- 平成31年度 *SSW(スクールソーシャルワーカー) 配置
*「地域未来塾」コーディネーター 配置



山県市教育センター

〒501-2257 岐阜県山県市富永495番地
TEL 0581-52-1007
FAX 0581-51-0030
E-mail k-center@yamagata-gifu.ed.jp